

**製品名: FoxD3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11080**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | ヒト、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量  | 48kDa  |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | FOXD3  |
| 別名           | FOXD3; HFH2; Forkhead box protein D3; HNF3/FH transcription factor genesis |
| 遺伝子 ID       | 27022.0  |
| SwissProt ID | Q9UJU5   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト FOXD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260                            |

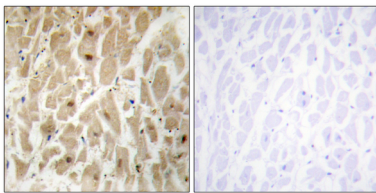
**背景**

この遺伝子は、明確なフォークヘッドドメインを特徴とするフォークヘッド転写因子ファミリーに属します。この遺伝子の変異は、自己免疫疾患感受性 1 型を引き起こします。[RefSeq 提供、2008 年 11 月]、疾患: FOXD3 の欠陥は、自己免疫疾患 1 型 (AIS1)

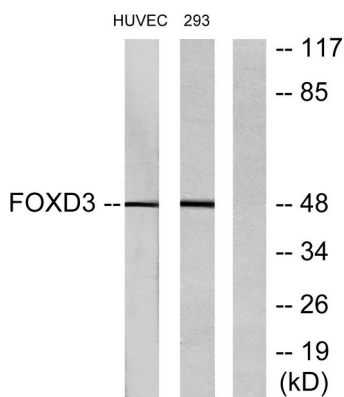
[MIM:607836]の感受性と関連しています。また、白斑関連多発性自己免疫疾患感受性2型 (VAMAS2) とも呼ばれます。全身性白斑は、メラノサイトの自己免疫的喪失によって皮膚と毛髪に白い斑点が生じる後天性疾患で、しばしば他の自己免疫疾患を伴います。ほとんどの症例は散発性家族性パターンで発生し、多因子遺伝を示唆しています。しかし、進行性に癒着するびまん性脱色素斑と比較的早期の発症を特徴とする、やや特異な白斑表現型を示す顕著な家系が報告されており、浸透度が不完全で常染色体優性遺伝形式をとることが明らかになっています。機能: コンセンサス配列 5'-A[AT]T[AG]TTTGTTT-3'に結合し、転写抑制因子として作用します。また、転写活性化因子としても作用します。神経管前駆細胞から神経堤細胞の発生を促進します。神経前駆細胞を神経堤細胞系譜に限定し、介在ニューロンの分化を抑制します。胚発生の着床前段階および着床周期における多能性細胞の維持に必要。類似性: フォークヘッド DNA 結合ドメインを1つ含む。組織特異性: 慢性骨髄性白血病、Jurkat T細胞白血病、および奇形癌細胞株で発現しているが、調べた他の細胞株や正常組織では発現していない。

## 研究分野

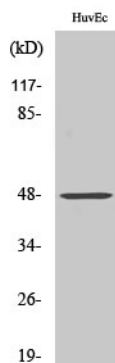
## 画像データ



FOXD3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



FOXD3抗体を用いたHUVECおよび293細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FoxD3ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。